

これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画（市町村計画）のあり方 国土審議会計画推進部会国土管理専門委員会 2017年とりまとめ（案）概要

○ 国土利用・管理を取り巻く状況と課題

- ・急激な人口減少、異次元の高齢化の進展
 - 国土管理水準の低下 - 農地の荒廃・森林の手入れ不足、野生鳥獣害の発生
 - ・自然環境、景観、水資源の保全の課題
 - 土地利用の非効率化 - 空き地等の低・未利用地、空き家の増加・効率的なサービス提供の必要性
- ・巨大災害の切迫、気候変動等による水害、土砂災害等の頻発化・激甚化
- ・インフラの老朽化
 - ・合併による市町村域の広域化
- ・インフラ整備の進展等による周辺土地ニーズの変化
 - ・人員、財政上の課題 など様々な状況変化と課題

○ 対応の方向性

土地利用アプローチにより解決を目指す

特に市町村を中心とした土地利用構造転換の推進

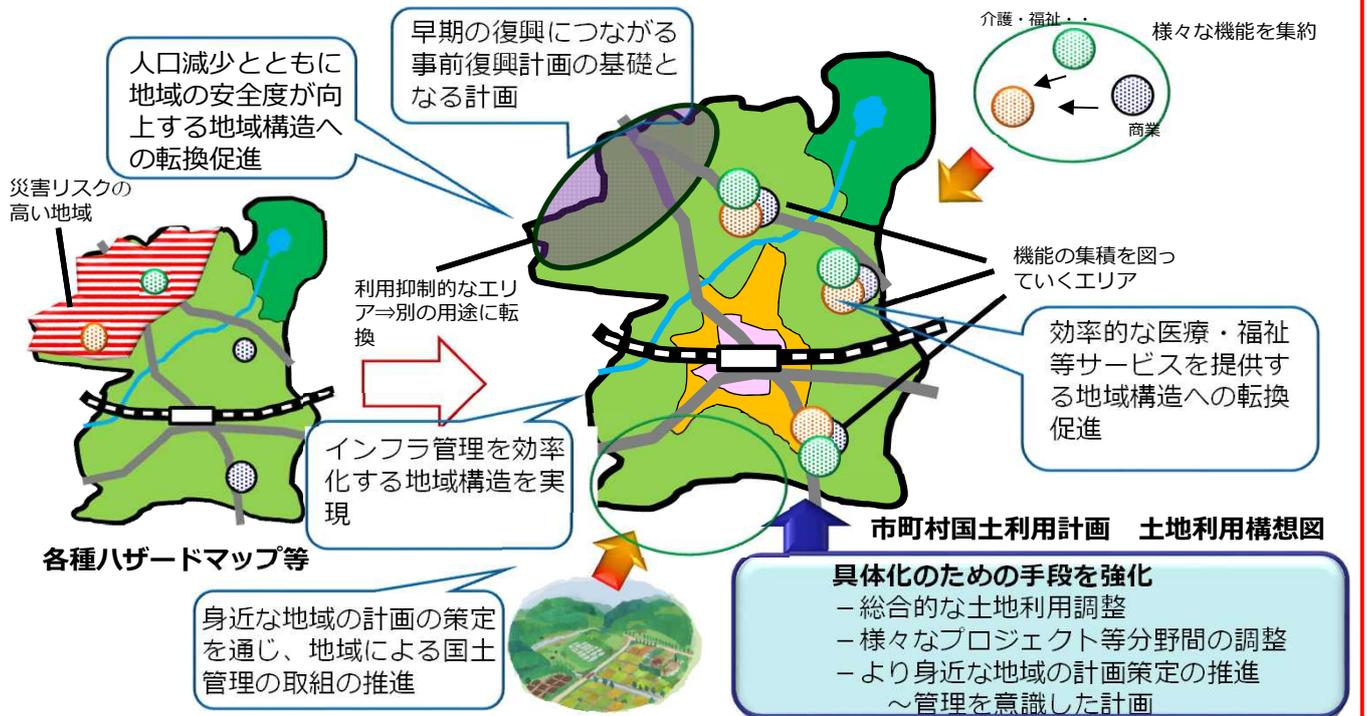
人口減少に対応した土地利用構造への転換を進めるにあたって

「コンパクト+ネットワーク」の戦略の視点を持った地域のグランドデザインが必要。

- ・個々の課題に個別に対応するのみならず、総合的な土地利用アプローチを進めるため、総合性、指針性、長期的時間軸の観点をもった計画づくり
- ・国土管理の視点に配慮し、身近な地域の課題に沿った計画づくり

○ 市町村国土利用計画の活用

人口減少下の土地利用構造を実現するためのグランドデザイン



○ 計画策定・推進の支援

- 人口減少下の時代にあった国土利用計画制度への改善・充実
- 計画策定・変更に対する支援
 - 洪水浸水想定区域データ等の災害リスク情報の積極的提供とそれを受けた土地利用推進のための計画策定に向けた技術的支援
 - 計画策定に資する様々な地理空間情報の提供、様々な分野の専門的な立場からの計画策定支援、策定ノウハウの横展開など計画策定支援措置の充実 等